

# 学館二期互争の實を眞面目に設立向けて!!

明大生田學館運営委員会

アヘンとしての田主和座を明大生田學館運営委員會  
前期より我々嘗て、右の二つが主体としての存在を語りまじ一回の資本制社会  
的に取扱ひされ、當時第一期互争で要求して居る、いわば勞働者商品、そ  
は後期に入り本校の販賣部立確約といふのを本家が、資本家を肥え、人ら  
の状況の中で、結果・田主和座をも含めに全せる為の労働者商品とてしかあらしめ  
明治設置で第二期互争も、展開するない、いわば、労働者商品、そ  
必要性を生ぜしめた。又、やむかつ現在とぞあり、又、生升えているのである。  
的に行々の至る、三木均等運動を、要求「史も説明していく様に、教育といつも  
われておこる。前期に於て我々が討ひは當時の支配者の教育でありその論理  
論して、たゞ、學館運動の内容からには、内であるに他ならない。だがしかし、我々は  
裏を踏みえて、學館第二期互争を天々少なくとも一回の人間として認証する  
的繰り上げねばならぬ。我々は、學とに全精力を上げてもがいている。だが  
第三期互争の内裏として、再度、このマニアロ状況、我々とは異質なビル  
自己教育・自己教育思想を良き内里とする、田主和座を達せしめて  
する。

## 田主和座の是正

現在の社会での生産過程として存在している教育。ここに日本の大學における  
教育は、何如なる価値を有して、又、とは明白であろう。我々とちがふるもの  
もつかぬとて、我々もせしめているのである、いわば価値観はすでに既成のものでは  
そうか。我々恐らく現実に押し進める、うるさい。今日の大學で行なわれて  
られている教育(學問)に対する私の心の問題。前記といふ名の下に始んど好  
不安又疑惑の感を持たないで居ろう。それは、いかがわらず我々に押しつけられ  
る、お後期の主導と民衆主義という、これまでの學問の下、支配者の手で口宣い  
教科にも變へられ、どうに他ならない。現  
在行なわれる、いわゆる教育(學  
科)は、實に、政治がうは自由だ  
問題の多くは、實に、政治のたまには、そこ  
で止まぬで、その他の問題に対  
する我らの心も、我らの心もまた人間と  
何様のものか、それへの對応の心である

我々は、自らの手で自らの新しい価値觀  
を發揮していかないかぎり、いわば人間  
疎外から離脱しないし、自己を自己  
として認証できないであらう。ここに提  
起された田主和座を進めていく過程から  
自分産独自の価値觀を形成してゆこうと  
するのが我々の田主和座の基本的視点で  
あり、又、その中に社会と個人の関係で  
独自のものを形成すること、田主和座の  
意義を見い出す。現在の學問体系を突き  
崩す方法論を確立するために、又、自ら  
が自立し自らの學問体系を確立する為に  
我々の試みを大胆に展開しようではない  
か。そしてその過程の中にこそ新しい  
価値觀を自らの手で断固として勝ち取  
のだ。

以上の様に我々の學館二期互争斗争  
の極めて基本的な視点をふまえかつ、  
認識して生田地区の學友諸君は、オニ期  
互争斗争を主体的に取り組まれんことを  
要望する。

## スローガン

- 。學館二期互争を獲ちとれ!
- 。學内協調路線粉碎
- 。大學文化共同体説粉粹
- 。全體反は學館斗争・全體斗争
- 。會議へ結集せよ!

明大生田學館運営委員會